

# ビル管理技術科

■入所月:令和6年8・11月 令和7年2月 P9参照

■定員:各月 15名

※8月・2月のコースは、7月・1月のビジネススキル講習から受講することも可能です。

■費用等 テキスト代:約13,000円 資格試験代:詳細は実施団体のHP等をご覧ください。  
作業服代:入所時に担当講師より案内。 職業訓練生総合保険:任意 約4,900円。



快適で安全に利用できる  
ビルの環境を提供します。

ビルにとってのビル設備員は、いつも設備のことをみている、いつもと調子が違えば元の姿に戻るように対策を講じます。もし、設備員の手におえないような故障が発生した場合は、専門業者に修理を依頼するなど、迅速な対応が求められます。

訓練の中で、各種設備の原理や構造から学びます。さらに、実際に機器を使って運転や施工をすることで、その設備のあるべき状態を理解すると共に、管理や保全等に関する知識・技術を習得します。

## ■仕事内容

ビルや建物内にある、人の生活に必要な設備（電気・空調・ボイラー・給排水など）を点検、メンテナンスする仕事

## ■取得できる資格

※カリキュラムに含まれているので無料で取得できます。

ガス溶接技能講習

(大分労働局長登録教習機関大分10-01)

登録有効期間満了日:令和11年3月30日)

## ■目指せる資格

※受験は任意。受験料が別途必要となること

- ① 2級ボイラー技士(公益財団法人安全衛生技術試験協会)
- ② 第二種電気工事士(一般財団法人電気技術者試験センター)
- ③ 危険物取扱者(一般財団法人消防試験研究センター)

## ■過去の就職状況

(参考:設備技術科)

株式会社荒巻工業、第一ビル管理株式会社

株式会社千代田、松尾機器産業株式会社

株式会社宮園電装、株式会社森工機

## ■転職例

- 自動車部品塗装(生産管理) → 設備管理員
- 陸運業(集配員) → 設備工事・管理
- 建設業(サービス) → 設備工事
- アミューズメント業(動物飼育員) → 空調機器整備員

## ■カリキュラム内容 (ひと月ごと)

5月 11月



### 空調設備保全管理

- ・情報活用
- ・冷凍法
- ・空気調和設備
- ・エアコン据付

6月 12月



### 給排水衛生設備管理

- ・上下水道
- ・給排水設備
- ・衛生設備

7月 1月



### IoT機器を用いたビル設備点検

- ・IoT機器を活用した点検
- ・遠隔監視による日常点検
- ・ビル管理システム(中央監視装置)

8月 2月



### 電気配線工事

- ・電気回路の基本
- ・電線接続
- ・ケーブル配線
- ・金属管配線
- ・法規
- ・電気測定

9月 3月



### ボイラー設備

- ・ボイラーの構造・取扱
- ・燃焼装置と燃料
- ・ボイラーを用いた各種運転実習

10月 4月



### 電気設備保全管理

- ・シーケンス制御
- ・高圧受変電設備

## ■担当講師から

設備は、身近でありながら気づかなかった、生活の裏側がわかる面白い分野です。また、生活を支える仕事はダイレクトに人の顔が見えるので目指しがいがあります。いっしょに設備のエキスパートを目指してみませんか。



※写真は訓練風景のイメージです。